

パンスターズ彗星が来た 腐っても鯛というが・・・

3月10日の近日点通過を迎え、いよいよパンスターズ彗星が北半球に回ってきました。2月中旬に、オーストラリアまでお迎えに行ったのですから、ここは立派な姿で現れてほしいと願うものの、聞こえてくるうわさは期待はずれの声ばかりでありました。

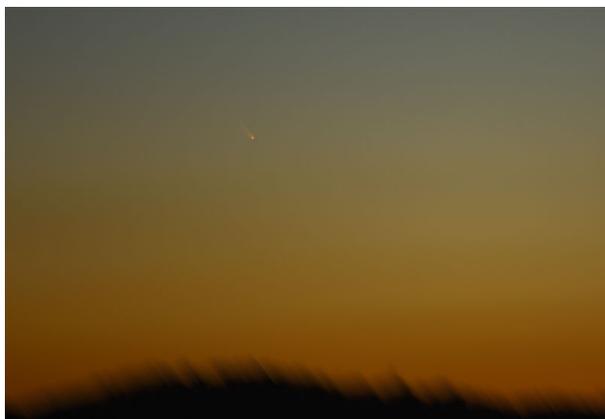
さらに、観測可能時間が日没直後の薄暮が残る18時半頃となって、仕事との兼ね合いがとても問題になりました。これでは、仕事を早く切り上げても観測に出かけられる場所は限られてしまいます。

幸いなことに、職場の周辺は西側が開けているうえに、慣れた場所なので、方位を定めることも容易で、いちはやく彗星を捉えられる可能性があります。そんなことで、観測場所は職場周辺の駐車場と決めました。

また、ある程度彗星が明るくて大きいと予想し、まずは中望遠レンズ(180mm)で狙うことにしました。薄暮のなかの撮影ですから、とりあえず赤道儀も必要ありませんのでフットワークは軽いものです。

かくして、当地にて天候が回復し、透明度の高い空があらわれたのは、まさに近日点通過の3月10日のことでありました。目的の場所に三脚を構え、暮れ行く西の地平線をひたすら双眼鏡で探しましたが、なかなか彗星はつかまりません。そうこうしているうちに彗星の予想位置はどんどんと地平線に近づいていく中、勝手に連写していたデジタルカメラの再生画像に彗星とおぼしき白い像が浮かんできました。

結局、実視よりも先にカメラが彗星を見つけるという情け無い有様ではありましたが、とにもかくにも彗星との再会に感激でした。



上:3月11日のパンスターズ彗星(180mmF2.8)

右:パンスターズ彗星早見盤

3月10日の撮影で、中望遠では少々厳しいことがわかったので、翌日からは望遠鏡の直接焦点で狙うことにしました。翌11日は透明度が悪くてほとんど捉えることができませんでしたが、12日はまずまずの姿を見せてくれました。

だんだん慣れてきたところで、14日、15日はいよいよ赤道儀を出して、写真の精度を高めることに注力が移っていきました。

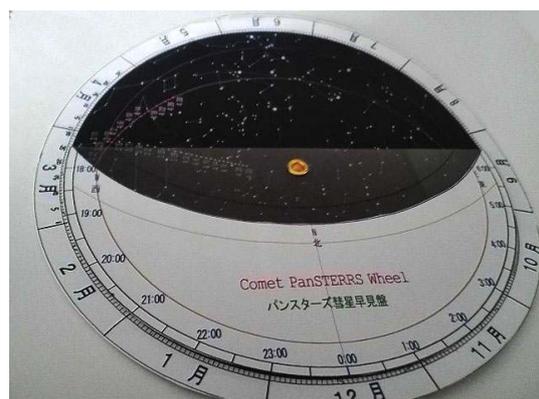
毎日撮影した写真を比べると、だんだんと彗星の尾が立ってきていることがわかります。ただ、薄暮の撮影のため、露出時間が稼げないので、なかなか彗星らしい彗星というわけにいかないのが残念でした。



上:3月15日のパンスターズ彗星(480mmF6)

ということで、3月の薄暮の陣は終了しました。いよいよ4月は東空で暁の決戦であります。なんやかやといいながらも、南半球、夕方、明け方と、1粒で3回おいしい彗星ですから、次もがんばりたいと思ってます。

さて、閑話休題。彗星が現れると、毎回、星座早見盤に彗星の位置を描いて、朝夕に彗星が見える位置を確認するツールが作られています。今回のパンスターズ彗星(アイソン彗星)についても市販されているようですが、せっかくなので自分でも作ってみました。



メカが大好き カメラレリーズ

カメラのレリーズというと、昔はスプリングでスチールワイヤを押すタイプの機械式のケーブルでしたが、デジカメ時代になると、電線の先にスイッチをつけた、いわゆるリモートスイッチが主流となりました。

単なるスイッチなので、どこの会社も同じと思うとさにあらずで、特にレリーズの電線が曲者です。

いろいろと調べてみると、結構固いケーブルを使用している製品があり、写真で見ると、Nikon の純正レリーズ(左)がそんな感じで、中国製のパチモンレリーズ(中央)も(そんなところまで真似しなくても良いのに)結構硬いケーブルが使われています。一方で、互換品のカールコードを使ったレリーズ(右)は好感がもてる逸品で、とてもしなやかに動いてくれます。

通常の日体撮影では、レリーズがカメラからぶら下がる形になるため、テンションがかからないようにうまく工夫しておかないと、長時間露出時に思わぬガイドエラーの原因

になってしまったりするので要注意であります。

そんなこともあって、タイマーの接続端子をつけるついでに、柔らかいケーブルを買ってきて交換してみたりするのですが、せっかく安いレリーズを買っても、改造のための部品代が高くついてくるのは切ない話です。



Books & CDs SmartStella

Android 端末に対応した、StellaNavigater のサブセットともいべきプラネタリウムソフトの SmartStella です。

しかし、容量や処理能力、操作性の都合もあってか、随分と機能が絞られていて、観測に活用という観点では、やや難があるものの、ちょっとした空き時間に今夜の星空の様子をシミュレーションするにはとても便利なアプリです。

特に、最近のアップデートで彗星の表示機能が充実したので、パンスターズ彗星の観測計画を立てるのにわざわざパソコンを立ち上げる必要がなくなって、超便利になりました。

また、出没時刻と薄明の関係とか、観測位置の確認

をするのに、現場でリアルタイムに使えることも素敵です。早朝に目覚まして起きたときに、布団の中で現在の彗星の位置が確認できるので、「さあ、出動だ！」と勢いをつけるのにも役立っていますが、ようよう起きだして外を見たときに空が曇っていたときは脱力してしまいます。さあ、また寝るか・・・



編集雑記

3月というと、なんだか彗星の季節という感覚があります。私が始めて見た明るい彗星はウエスト彗星でしたが、この彗星が東天に現れたのは確か三学期の期末試験の最中の3月初旬でした。あと、ハレー彗星も春だったし、なんといっても、百武彗星、ハールボップ彗星もこの頃でした。そうそう、ベネット彗星もこの頃だったのかな。(自分は見て

ないけど)

それぞれの彗星の姿とともに、その頃のことを懐かしく思い出します。

Kz_Wada 和田一人